

ラクウショウ通信速報No. 1

(ラクウショウは、佐賀大学本庄キャンパスの正門から続く
並木の名前 盛夏にますます緑が濃くなります)

2016年8月20日 2016年全大教九州教研交流集会実行委員会事務局

佐賀大学教職員組合 0952-22-9281 / FAX0952-22-9286



全大教九州地区教研交流集会 速報 No.1 (2016年8月20日)

ようこそ佐賀へ

遠路はるばる全大教九州地区教研交流集会におこしいただき、実行委員会一同心より歓迎いたします。

皆様方におかれましては、さまざまな問題に直面され、大変お忙しい時期だと思っておりますが、今回の集会在よりよい方向へ進む手助けになれば幸いだと考えております。

準備万端整えているつもりですが、何かと行き届かない点もあると思っております。お気づきの点は、近くのスタッフまでお気軽にお声かけ下さい。できる限りの対応をさせていただきます。

大いに語り、よりよき未来を目指しましょう。

交流集会の開催にあたって

佐賀大学教職員組合委員長 宮良明男

ようこそ、佐賀においでくださいました。今回、九州各県から、多くの方々の参加をいただき、ありがとうございます。このように多くの方々にお集まりいただき、本当にうれしく思っております。

さて、国立大学は、法人化以降、さまざまな改革が行われ、将来のビジョンがイメージできない状況が続いております。特に、学長のリーダーシップの下、大学のガバナンスを強化しようとする動きが顕著であり、私たち労働者の声が反映されにくい大学になろうとしています。また、運営交付金の削減による、教育・研究経費へのしわよせは限界に達しており、このままでは、教育・研究への悪影響は避けられないと思われまます。このような状況で、労働組合のはたす役割は、ますます重要となっており、私たち自身で未来の大学像のビジョンを明確に持つことが必要です。本研究交流集会在大学間の情報交換の場となり、よりよい大学をつくるための一助となれば幸いです。

短い間ではありますが、皆様のご協力をいただき、この交流集会在実りあるものとしましよう。